

第2学年A組 生活科学学習指導案

1. 単元名 「たんけん はっけん 大ぼうけん 2」ーちかてつをたんけんしようー

2. 本単元の考え方

【児童の実態】

本学級の児童は、情報教育についてのアンケートで、ほぼすべての児童がコンピュータを使って学習することが好きであると答えており、コンピュータに対しての関心の高さをうかがうことができる。また、好きである理由としては、絵が動いたり、音が出たりして楽しいからといったコンピュータがもつ特性を楽しみの要因としてとらえている児童が多い。学習におけるコンピュータの活用経験としては、コンピュータを利用した学習教材等の活用にとどまっており、コンピュータを使って調べたり、調べたことをまとめたりする経験はほとんど行っていない。キーボードを使った入力の実験も極めて少ない。

【単元の価値】

本単元は、児童が生活している地域の交通機関である地下鉄に関心を持ち、駅や車両基地を探検したり、働いている人の話を聞いたりしたことをもとに気づいたことや見つけたことなどを報告し合う活動を通して、公共施設の利用の仕方を理解し、地域の中で働いている人々に親しみをもつことができるようになることをねらいとしている。学習指導要領改訂の要点において、「児童が身近な人や社会と直接かかわる活動や体験を重視すること」また、「直接かかわる活動や体験の中で生まれる知的な気づきを大切にすることを指導が行われるようにすること」などが改善の基本方針としてあげられている。本単元において、児童が地域の交通機関である地下鉄の駅で実際に切符を買い、地下鉄に乗る活動や地下鉄で働く駅員さんなどに質問する活動をはじめ、車両基地で働く人々の話を聞くといった活動は、児童一人ひとりが、自分と身近な地下鉄やそこで働く人々とのかかわりに関心を持ち、自分たちの生活を便利にしている社会について考えたり、生活に欠かせない交通機関を利用する知識や技能を身につけたりすることは、児童の自立への基礎を養うことにつながると考える。

【指導にあたって】

本単元の指導にあたっては、1学期の町探検の振り返りをもとに2学期に地域の公共施設や公共物について町探検する事について知り、活動の見通しを持たせ活動への期待感を持たせるようにしていく。次に、探検計画をたてる段階では、地域の公共施設や公共物について話し合いをしていく中で、2学期の探検での目的地について方向付けを行っていくようにする。また、児童が公共物や公共施設を正しく安全に利用することができるようになるために、マナーや利用に当たっての心がけについても活動を通して身につけることができるよう配慮していきたい。また、探検に際しては、地域で働いている人たちとより多くの出会いの機会を持つことができるように、事前に探検先との調整を十分に行っていく。さらに、まとめる段階においては、探検において児童一人ひとりがつかんだ知的な気づきをさらに広げていくことができるように、コンピュータ等の効果的な活用を行っていききたい。

3. 情報教育の目標との関連

本学級の児童は、コンピュータを使った学習への興味関心はとて高く、事前アンケートでは全ての児童が、コンピュータを使って学習することが好きであると答えている。しかしながら、コンピュータを使った経験としては、算数の学習において習熟を目的とした教材ソフトウェアを活用したり、簡単な言葉を入力してカードをつくったりといった断片的な活動にとどまっており、学習の

中で主体的にコンピュータを活用する経験は極めて少ない。そのため、文字入力などコンピュータを活用する基礎的な技能は未発達であると言わざるを得ない。そこで、本単元においては、コンピュータがもつ特性を生かして、文字入力に代わる表現方法として音声を使った表現を活用していく。具体的には、児童がコンピュータを使って活動のまとめを作成していく過程において、児童がデジタルカメラで撮影した写真と見つけたことや気づいたことを読み上げた音声を組み合わせてスライドにし、友達やお家の方たちに見てもらえる報告を行っていかうとするものである。これらの活動は、技能面において未発達な児童においては、コンピュータの(情報を一元管理できる等の)よさを直に感じる機会となると考える。そのことは、今後児童が、学習において主体的にコンピュータを活用しようとする意欲につながり、さらには児童の情報活用の実践力を高めていくことにつながって行くであろうと考える。

4. 単元の目標

- 自分が生活している地域の様々なものに関心を持ち、さらにかかわりを広げようとする。(生活への関心・意欲・態度)
- 公共物や公共施設を利用すると、自分達の生活の広がりができ、楽しいことが増えることに気付くことができる。(身近な環境や自分についての気付き)
- 地域の公共物や公共施設を正しく安全に利用することができる。(活動や体験についての思考・表現)
- 探検を通して見つけたことや気づいたことを、発表方法を工夫して、コンピュータを使ってスライドにまとめることができる。(情報・活動や体験についての思考・表現)

5. 単元計画 (15時間)

課題解決の学習過程	主な学習活動	○情報活用の場面 ・育成する実践力	教師の支援 (生活…○, 情報…◎)・評価…●
<p>であう 3時間</p>	<p>1. 1学期の町探検を振り返り、秋の探検への意欲・関心を高める。 ①</p> <p>(1) 1学期の町探検での活動を振り返らせる。</p> <p>(2) 2学期の探検(地域の公共施設や公共物)について知り活動の見通しを持つ。</p> <p>2. 探検したい場所、調べたいことなどについて話し合い、探検の計画を立てる。 ②</p> <p>(1) 地域にある交通機関について、経験や知っていることを話し合う。</p> <p>(2) 調べてみたいことを話し合う。</p>		<p>○ 前回の活動の経験から、活動のきっかけや目的を見いだせるようにする。</p> <p>● これまでの活動の振り返りをもとに、さらに探検してみたい場所や調べてみたいことを話すことができる。</p> <p>○ これまでの活動や生活経験から、おおよその見通しが立てられるよう促す。</p> <p>● 探検したい場所や調べたいことを考えることができる。</p>
<p>さぐる 2時間</p>	<p>3. 探検の計画を立て、準備をする。</p> <p>(1) 探検の場所や調べることについて話し合う。 ②</p>		<p>○ 調べたいことについては、グループや学級での話し合いの時間を取り、より多くの調べたいことをもって探検に望ませるよ</p>

	<p>【探検の主な目的地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄室見駅 ・地下鉄車内 ・浜浜車両工場 <p>(2) 探検に持って行く持ち物や探検での約束について確認する。</p>		<p>うに配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通ルールやマナーなどを話し合い、安全に留意して出かけられるようにする。 ● 探検の場所や調べたいことについて考え、探検に行く目的を持つことができる。
ふかめる 4時間	<p>3. 地下鉄の探検をする。 ④</p> <p>(1) 地下鉄の駅や車内を探検する。</p> <p>[情報を集める(収集)]</p> <p>【児童の具体的な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅員さんの話をきく。 ・駅の中を見て回る。 ・駅にいる人たちにインタビューをする。 ・興味を持ったものの写真をとる。 ・切符を買い、地下鉄に乗車する。 <p>(2) 車両工場(基地)を探検する。</p> <p>[情報を集める(収集)]</p> <p>【児童の具体的な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両工場の方の話をきく。 ・工場の中を見て回る。 ・興味を持ったものの写真をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を集める ・収集 <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を集める ・収集 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に探検先の施設と綿密な打ち合わせを行い、探検の時間帯や児童からの質問内容等を駅や工場の方に伝えておく。 ● 地下鉄の駅や車内を探検して、地下鉄の利用の仕方や駅の仕組み、地下鉄で働いている人たちの努力や工夫に気づくことができる。 ◎ デジタルカメラをグループごとに持たせて、探検で見つけたものを、映像の情報として収集させるようにする。 ○ 安全面について十分留意して、探検させるよう配慮する。 ● 車両工場を探検して、工場で働く人たちの努力や工夫に気づくことができる。
まとめる 4時間	<p>4. 報告の準備をする。 ④</p> <p>(1) 探検をして見つけたことを「見つけたよカード」にかく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報をつくる ・判断 ・表現 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検をして見つけたことや、気づいたことを整理して記入できるように、「見つけたよカード」を活用させる。 ◎ コンピュータを使ったまとめの活動につながるように、子どもたちがデジタルカメラで撮影した画像の一覧を配布し、関連する見つけたよカードに添付させる。 ● 探検をして見つけたことや気づいたことを見つけたよカードに記入することができる。

	<p>(2) 「見つけたよカード」をもとにコンピュータを使って、見つけたことをまとめる。 [情報をつくる(判断)(処理)(表現)]</p> <p>【児童の具体的な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検の中で、見つけたものや気づいたことの中で、みんなに伝えたいことを選ぶ。 ・スライド作成ソフトを使って、探検で撮影してきた写真の中で、報告したい写真をスライドに貼り付け、タイトルを付ける。 ・報告する内容を音声で録音し、写真を貼り付けたスライドに貼り付ける。 ・つくったスライドをインターネットで閲覧できる形式で保存する。(本時3/4) 	<p>○ 情報をつくる ・表現</p>	<p>◎ 自分がかいた見つけたよカードの中で、報告したいものを選んで、コンピュータに入力させるようにする。</p> <p>● コンピュータに画像や音声を取り込んだり、簡単な文章を入力したりすることができる。</p> <p>◎ スライド作成ソフトを使って、画像や音声を取り込んだり、文字を入力したりする方法について、わかりやすいスライドの作り方の資料を作成し、必要に応じて活用させる。</p> <p>◎ 貼り付ける音声をスムーズに作成するための録音カードの提供。</p> <p>● 探検をして見つけたことや気づいたことの中で、みんなに伝えたいことをスライドを使って表現することができる。</p>
<p>広げる 2時間</p>	<p>5. パソコンを使ってまとめたことをみんなに紹介する。 ② [情報を伝える(発信)(伝達)]</p> <p>(1) クラスの中で、報告会をする。</p> <p>(2) インターネットを使って、お家の方や地下鉄探検でお世話になった方々に報告する。</p> <p>【児童の具体的な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがつくったスライドを見てもらうように、お家の方や地下鉄探検でお世話になった方たちにお手紙を出す。 ・スライドを見た感想を書き込んでもらった掲示板を読み、次の活動への見通しを持つ。 <p>(3) 活動のまとめを行う。</p>	<p>○ 情報を伝える ・発信・伝達</p>	<p>● 自分たちがつくった報告のまとめをスライドを使って友達やお家の方に紹介することができる。</p> <p>◎ 児童が作成したスライドを保護者や地下鉄探検でお世話になった方々が閲覧できるように、web ページとして公開する。ただし、プライバシー保護の観点から、パスワード等で保護された web ページとして公開する。</p> <p>◎ 保護者など web ページを見た人たちからのメッセージを書き込んでもらえるように、web ページ上に掲示板を設置する。</p> <p>● 活動のまとめをこない、次の活動への見通しを持つことができる。</p>

7. 本時目標

- 探検をして見つけたことや気づいたことの中で、みんなに伝えたいことを発表方法を工夫しながら表現することができる。(活動や体験についての思考・表現)
- コンピュータにデジタルカメラの画像や音声を取り込んだり、簡単な文章を入力したりして、探検のまとめのスライドをつくることができる。(情報)

8. 本時授業仮説

集めた情報から探検のまとめのスライドをつくる場面において、以下のような支援を行えば、児童が探検で見つけたことや気づいたことをお友達やお家の方に伝えるように表現する力が育つであろう。

- 写真や音声を貼り付けてスライドとして保存できるソフトウェアの提供。
- 画像や音声の取り込みや文字入力に関するスライドの作り方の資料の提供。

9. 本時指導の考え方

本時は、児童が探検に行き見つけたことや気づいたことをコンピュータを使って、スライドにまとめる場面である。

前時までに児童は、地下鉄の探検で見つけたものや気づいたことを「見つけたよカード」に記録してきている。そこで本時は、児童が記録した「見つけたよカード」をもとにして、コンピュータに活動のまとめをしていく学習を行っていく。

そこで、導入においてこれまでの活動を振り返り、地下鉄の探検で見つけたことや気づいたことをコンピュータを使ってまとめていく本時の活動を確認する。

次に、スライドの作り方を資料をもとに説明し、本時の活動の見通しを持たせ、実際にスライド作りを行わせていく。その際、必要に応じてスライド作りの資料を活用させていくよう促していく。

さらに、活動の終末に「できたかなカード」をもとに活動の振り返りを行わせ、次時の活動へとつなげていきたい。

本時学習を通し、コンピュータを児童の知的な気づきに生かすよさとして、様々な種類の情報を一元管理できるよさを実感させていきたい。そして、自分が見つけたことや気づいたことをお友達やお家の方たちに伝えるように表す表現の力を高めていくことができると考える。

10. 準備

- ・録音カード・スライドの作り方の資料
- ・できたかなカード
- ・マイク付きヘッドフォン

11. 本時展開

主な学習活動	○情報活用の場面 ・育成する実践力	教師の支援(生活…○, 情報…◎)・評価…●
1. 前時までの学習を想起し、本時学習のめあてを確認する。		○ 本時の活動を確認し、本時のめあてをとらえさせる。
<p>【めあて】 ちかてつたんけんで見つけたことや気づいたことを、コンピュータをつかってまとめよう。</p>		

<p>2. 「見つけたよカード」をもとに、コンピュータを使って見つけたことや気づいたことをスライドにまとめめる。</p> <p>(1) 探検の中で、見つけたものや気づいたことの中で、みんなに伝えたいことを選ぶ。</p> <p>(2) スライド作成ソフトを使って、探検で撮影してきた写真の中で、報告したい写真をスライドに貼り付け、タイトルを付ける。</p> <p>(3) 報告する内容を音声で録音し、写真を貼り付けたスライドに貼り付ける。</p> <p>(4) つくったスライドをインターネットで閲覧できる形式で保存する。</p> <p>3. 本時学習を振り返り、次時への見通しを持つ。</p>	<p>○ 情報をつくる ・表現</p>	<p>◎ 自分がかいた見つけたよカードの中で、報告したいものを選んで、コンピュータに入力させるようにする。</p> <p>● コンピュータに画像や音声を取り込んだり、簡単な文章を入力したりすることができる。</p> <p>◎ スライド作成ソフトを使って、画像や音声を取り込んだり、文字を入力したりする方法について、わかりやすいスライドの作り方の資料を作成し、必要に応じて活用させる。</p> <p>◎ 貼り付ける音声をスムーズに作成するための録音カードの提供。</p> <p>● 探検をして見つけたことや気づいたことの中で、みんなに伝えたいことをスライドを使って表現することができる。</p> <p>◎ 本時での情報の力の発揮についてできたかなカードに記入させる。</p>
--	-------------------------	--